

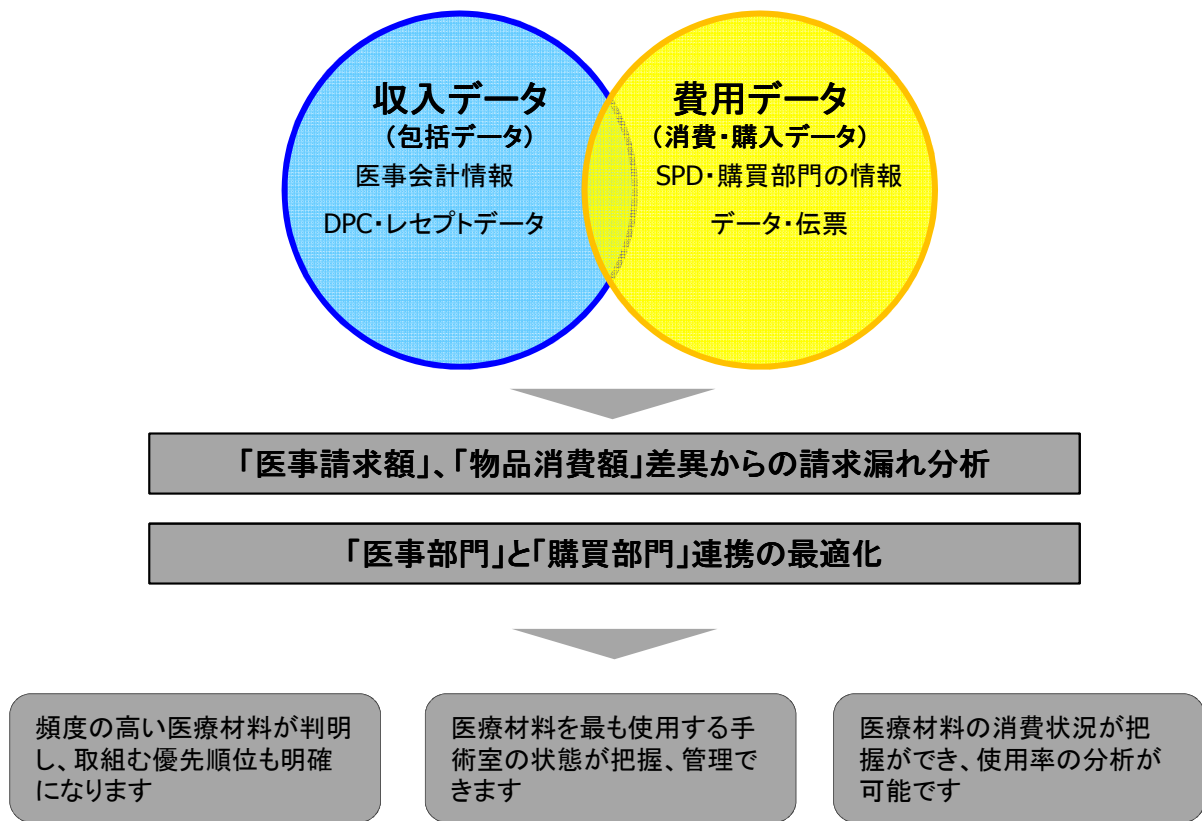
物品管理・医事連携検証サービス

mediThink-material

～診療報酬包括化の時代を生き残るために～

現場に負担をかけず、既存の病院システムで物品管理の精度を高めます。

収入と費用の相互管理から請求漏れ改善を！



物品管理・医事連携検証サービス mediThink-material

～このような課題を解決しましょう～

院内の診療材料や医薬品の管理状態が、経営に影響を与えているかもしれない。

二つのシステムを導入しているが、そのデータを病院経営に活かし切れていない。

どの病棟の管理がしっかりしているとか、現場レベルの経営課題が明確にわからない。

システム連携が不十分なため横断的な分析ができない。



物品管理は医事請求の精度を左右します

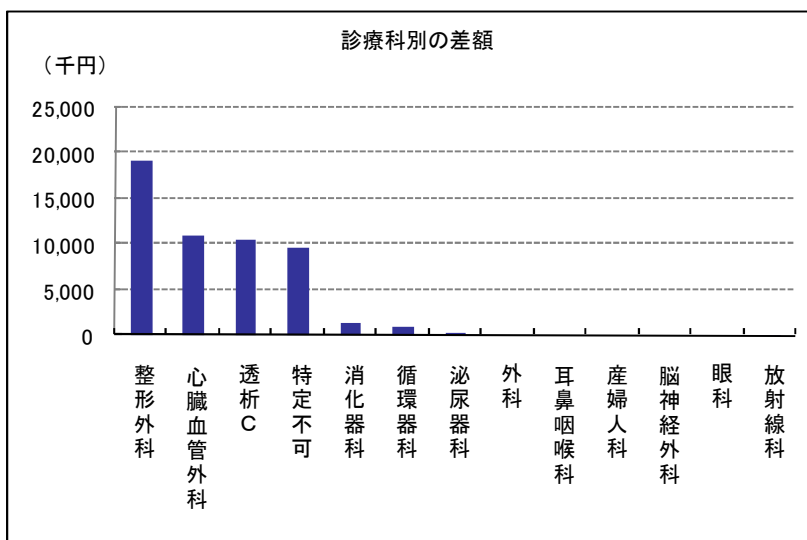
-	償還分類名	消費データ	医事請求データ	差額	使用診療科
1	デュアルチャンバ(4)	14,320,000	7,160,000	7,160,000	心臓血管外科
2	人工股関節HF-4	5,142,000	該当無し	5,142,000	整形外科
3	ダイアライザー(1.5m2以上)(2)	5,266,760	1,190	5,265,570	透析
4	人工股関節HF-6	2,060,000	該当無し	2,060,000	整形外科
5	CAPD交換キット	1,893,360	56	1,893,304	透析
6	髄内釘・F4-b	1,756,520	該当無し	1,756,520	整形外科
7	CAPD APDセット	1,668,800	該当無し	1,668,800	透析
8	ペースメーカー用経静脈リード標準型	3,487,000	1,902	3,485,098	心臓血管外科
9	CT用フィルム半切	2,508,000	1,007	2,506,993	特定不可
10	CT用フィルム24cm×30cm	1,086,750	該当無し	1,086,750	特定不可
~					
合計		76,914,565	23,389,486	53,525,079	全診療科

診療科を特定でき、具体的な改善取組みが可能

- ・現場と事務方とのコミュニケーションを密に
- ・現場と事務方の課題、問題点の可視化
- ・同種同効品の把握、絞込み、セット化
- ・現場のコスト意識の醸成
- ・価格交渉、卸絞込み戦略の策定

【必要なデータなど】

- ・DPCデータ
- ・レセプトデータ
- ・SPDなど物品管理データ



物品消費データと医事請求データを突き合わせることで、様々な効果を得ることができます。

【診療材料費の適正化】

定数管理体制の有無に応じた医療材料の消費数を把握し、費用分析を行い、機会損失の回復、価格交渉の資料としても利用できます。

【定数管理の最適化】

蓄積されている消費データを利用して、定数管理物品個々の使用率を算出し、根拠のある部門定数見直しにより適正な部門在庫管理が可能です。

【原価計算への応用】

費用データを詳細に分析することが出来れば、原価計算の精度があがります。配賦することなく、実感にあった原価計算が可能となり経営支援性の高い原価計算につながります。